

令和3年度第1回
エネルギー版産学官民連携 スタートアップセミナー

自治体新電力会社

(株) ながさきサステナエネルギーについて



株式会社ながさき
サステナエネルギー

株式会社ながさきサステナエネルギー
代表取締役 塩塚 武

令和3年10月6日



会社概要

ながさきサステナエナジーは、2020年2月に、脱炭素なまちづくりを目的とした自治体新電力として誕生いたしました。

社名は、会社の設立理念である「長崎市における持続可能な地域づくり」にエネルギーの面から貢献することを表しています。



株式会社ながさき
サステナエナジー

代表取締役：

塩塚 武

資本金：

5,000万円

出資企業：

協和機電ホールディングス(株)

不動技研工業(株)

(株)三基

(株)中央環境

長崎地域電力(株)

(株)ホルス

(株)十八親和銀行

長崎市



自治体新電力会社とは

■ 地域エネルギー事業（体）

地方自治体が民間事業者・NPO等と連携しながら、エネルギーの地産地消などの政策目的をもって、地域の資源を活用して地域の需要家にエネルギーを供給、需給調整等に関与すること

■ 自治体新電力（小売電気事業者）

地域エネルギー事業体のうち、自治体に関与する小売電気事業者

■ 自治体新電力事業者の現状（令和3年5月17日 資源エネルギー庁調べ）

- ・ 全国の小売電気事業者 . . . 721社
- ・ うち、自治体新電力 . . . 75社
- ・ 九州地区の自治体新電力 . . . 16社
- ・ 長崎県内の自治体新電力 . . . 3社

株式会社ミナサポ（南島原市）

. . . IT人材育成やAI/IoTソリューション事業を設立目的とする

株式会社西九州佐世保パワーズ（佐世保市）

. . . 資金の地域外流出抑制による地域振興などの公益的事業を行う

**脱炭素なまちづくりを目的として設立された自治体新電力事業者は
ながさきサステナエナジーが県内初となります。**



会社設立までの経緯

2016年：事業の検討開始

電力小売全面自由化、新西工場（高効率発電）稼働開始
複数のコンサル事業者から長崎市へ自治体新電力に関する事業提案あり

2017年：長崎市の附属機関にて構想を検討、並行して環境省のFSを実施

2018年：事業計画の策定

環境省FSの結果を受けて、市独自に事業計画策定業務を委託
ステークホルダーとの意見交換会実施（目的、趣旨、事業内容の共有）

2019年：賛同者（出資者）を確定

2020年：R2.2.10 設立

事業着想時より、およそ4年の検討・準備期間を経て設立されました。



なぜ、ながさきサステナエナジーが必要なのか？

長崎市における脱炭素化に向けた現状と課題

温室効果ガス

市内のエネルギー消費量は着実に減少傾向にあるものの、電力のCO2排出係数の変動等の影響により、温室効果ガスの削減目標の達成は厳しい



実効性のあるCO2削減対策

資金とエネルギー

地域で生み出された良質な再生可能エネルギーによる電力のほとんどが一般電気事業者経由で域外へ流出
電気料金としても年間400億円以上（推計）の多くが市外へ流出



エネルギーの地産地消
資金の地域内循環

再生可能エネルギー

固定価格買取制度（FIT）施行以来市内への太陽光発電は着実に増加しているものの、その他の再生可能エネルギーの開発が進まず



再生可能エネルギーの
導入促進の加速化



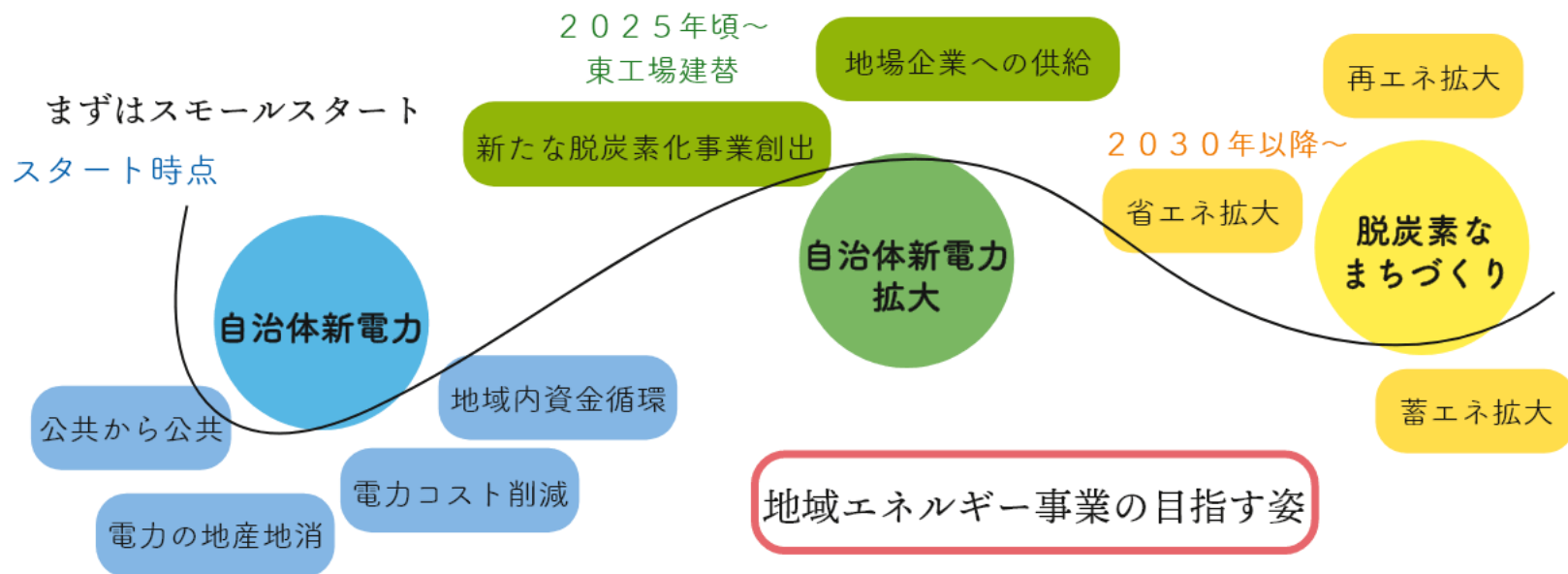
ながさきサステナエネルギーが果たす役割 ①

再生可能エネルギーを活用した
エネルギーの地産地消・資金の地域内循環の仕組みを確立



ながさきサステナエネルギーが果たす役割 ②

再生可能エネルギーの地産地消によるCO2削減と 新たな脱炭素化事業の創出



まずは自治体新電力として小売電気事業の安定運営を最優先として進めながら、
ながさきサステナエネルギーが脱炭素化事業を検討し、
市内事業者様と連携のもと新たな事業と雇用創出を目指して参ります。



SDGs達成へ向けた取組み



株式会社ながさき
サステナエネルギー

SDGs達成へ向け、市域のみなさまと共に
長崎から貢献してまいりたいと考えております。



どうぞよろしくお願ひいたします

